

30年度 子供たちをサポートするお仕事です！ 特別支援教育支援員を募集します！

学校や幼稚園・保育園・こども園に通う子供たちのなかには、学習や生活のスピードがゆっくりだったり、自分の気持ちを上手に表現することが苦手で、コミュニケーションを取ることに苦労していたりする子がいます。このような子供たち一人ひとりの状況に応じて適切な支援を行うことで、学校や園で健やかな生活を送ることができます。

現在、学校や園では、子供たち一人ひとりを大切に教育を行っており、教員・保育士と共に、特別支援教育支援員が学習支援や介助を行っています。子供たちが学校や園で、笑顔いっぱいの生活を送ることができるよう、サポートしていただける方を募集します。
(台東区ホームページの「採用情報」もご参照ください。)



○今年度も募集しています。詳しくは下記担当までお問合せください。

●お問合せ先：教育支援館
☎5246-5921



特別支援教育支援員募集情報は左記QRコードにアクセスしてください。

● 特別支援教育支援員の募集について ●

| | | |
|--------|---|---------------------------|
| 職種 | 非常勤支援員（幼・小・中） | 非常勤支援員（保育園） |
| 業務内容 | 特別な配慮を要する園児・児童・生徒への支援 | |
| 勤務場所 | 区立幼稚園、石浜橋場こども園、区立小・中学校 | 区立保育園、石浜橋場こども園 |
| 対象 | 特別支援教育に理解があり、心身ともに健康で意欲的な方（資格不問）大学等に在学中の方も可 | |
| 採用期間 | 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで ※学校が休みの期間（夏・冬休み等）は原則勤務なし | 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで |
| 勤務日数 | 基本：月～金曜日のうち、週1～4日（月17日以内） ※学校行事・土曜授業等により土・日曜日勤務の場合あり | 基本：月～土曜日のうち、週1～4日（月17日以内） |
| 勤務時間 | 基本：午前8時30分～午後3時30分（1日6時間勤務） | 基本：午前9時～午後5時（1日7時間勤務） |
| 募集人数 | 20名程度 | |
| 給与（月額） | 6,060円（29年度） | 7,070円（29年度） |
| | ※30年度は、給与の額が変更になる場合があります。 ※交通費別途支給（月額上限2万円） | |
| 選考方法 | 書類選考のうえ、1月の中旬から下旬に面接を行います。 | |
| 申込方法 | 顔写真添付の履歴書を郵送または持参※希望職種（両方選択可）、勤務可能日及び希望勤務日数を記入してください※履歴書の書式は、台東区HP「採用情報」に掲載しています。 | |
| 申込締切 | 平成30年1月12日（金曜日） | |
| 申込先 | 〒111-8621台東区西浅草3-25-16 生涯学習センター5階 教育支援館支援員担当 | |
| その他 | 採用が決定した場合、過去6か月以内撮影の胸部X線の診断書を提出していただきます。 | |

台東区ふれあいパートナーを募集しています！

ふれあいパートナーとは…

不登校等で、家に閉じこもりがちなお子様の家庭や保健室等を訪問して、自立と学校生活への復帰を支援します。



| | |
|------|---|
| 応募資格 | 心理学を専攻している大学3・4年生及び大学院生または、教員免許を有する方 もしくは取得見込みの方 |
| 活動内容 | 原則週1回 1～2時間程度 台東区立教育支援館および不登校の児童生徒の家庭や保健室等において児童生徒の話し・遊び・学習等の相手をする。 |
| 登録期間 | 登録日～各年度末 ※ただし、対象者からの申請があってから活動開始となります。また登録期間中に必ずしも活動の派遣を約束するものではありません。 |
| 報酬 | 1時間 2,000円（交通費含む） |
| 申込方法 | 顔写真添付の履歴書を郵送または持参 |
| 申込締切 | 予定数に達するまで募集を行いますので、下記までお問合せください。 |
| 申込先 | 〒111-8621台東区西浅草3-25-16 生涯学習センター5階 教育支援館ふれあいパートナー担当 |

●お問合せ先：教育支援館
☎5246-5921



ふれあいパートナー募集情報は左記QRコードにアクセスしてください。

リレートーク

連載 25

花の心をつなげて



小学校長会 会長
金子 雅彦
(富士小学校校長)

教育の仕事は花を育てる仕事とよく似ているなど感じることはありません。種が違えばそれぞれ違った花が咲くように、子供たちには一人ひとりの個性があって、決して同じようには育ちません。育てる者がいくら愛情を注いでも花の咲く時が決められないように、教師が子供の成長の時を決めることもできません。

どんな花をいつ咲かせるのかを決めることは私たちにはできませんが、よい土壌に種をまき、適温と適量の水、そしてこまめに世話をすればきっときれいな花を咲かせてくれることなのでしょう。子供たちも家庭の愛情という確かな土壌に根を張り、地域の皆さんに温かく守られ、教育という水や養分を適切に注げば、必ずいつの日か花を咲かせてくれる、そう信じてこの仕事を続けています。下町台東区は人情豊かな子育てに適した温かな町です。その中であって台東区の学校園は、子供たち一人ひとりに大輪の花を咲かせたい、この新聞の題を見てそんなことを思いました。

花と言えば、最近区内のあちらこちらで、きれいな花を以前にも増して目にします。区の施策のひとつ「花の心プロジェクト」が広がっていることの現れでしょう。花を慈しむ心とおもてなしの心を育み、心豊かでうるおいのある町づくりを目指したこのプロジェクト、本校でも玄関脇の周年記念碑の周りを花壇にし、旧レンガ校舎の門柱の周りに旧校舎に生えていたタマスダレを植え、可愛らしい白い花を咲かせるようにしました。また子供たちが委員会活動で育てた花を、ご近所にお配りして飾っていただくことにしました。本校と道を挟んですぐ隣は浅草警察署ですが、その浅草警察の玄関に、この秋は子供たちの育てた花が咲いています。

こうやって花の心がつながっていくことを願い、これからも台東区の学校園では、子供たち一人ひとりの大輪の花を咲かせていきたいと考えています。